



地方自治体（元担当職員）から見た自転車活用 とナショナルサイクルルート



和歌山市 産業交流局 農林水産部
中央卸売市場 技術主査 西林 孝紘

令和3年6月24日

令和3年度第1回SC研究会自転車活用分科会

自己紹介

地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート

和歌山県（かつらぎ町）出身

土木系技術職員

中学・高校・大学と君ほど全力で遊んだ学生は

今まで見たことがないと言われ

和歌山市に土木職として入庁



H20～26 下水道部 下水道建設課
（工事監督）

H27～28 道路部 道路管理課
（道路修繕）

H29～H30 政策調整部 政策調整課
（特命 自転車）

R1～R3 農林水産部 中央卸売市場
（好きな食べ物 魚と野菜）

課（市場）の職務は管理班、業務班・企画建設班に分かれ
市場の施設管理・運営、市場業務の指導
経営指導、市場再整備・道の駅等の計画



自己紹介



地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート



2011

ロードバイクに出会い初のサイクリング (体重95kg)

2012

サイクリングにハマる (体重75kg)

2013

38時間で東京まで自転車で行く (体重68kg)

2015

政策研究グループでサイクリングを研究

2016

和歌山サイクルプロジェクト発足

2021

現在 (体重・・kg)



(任意団体) 和歌山サイクルプロジェクト (WCP) の取組

ワカヤビサイクルプロジェクト

設立の経緯

和歌山市役所職員としてサイクリング事業を自主研究（2015年）



しまなみやビワイチ・アワイチを体験・和歌山の魅力を再発見

ソフト事業は市民・サイクリスト
(自転車ユーザー)が行うことが**最大の効果**

目的

- やりたいことを**自分たち**で行う。= **徹底的に楽しむ**
- やりたいことを**できる人**と**できることから**始める。= **楽しむ仕事**

実績

0-150GAME、和歌山シクロクロス、サイクルラックワークショップ・サイクリストカフェ、フォトコンテスト、イベントの協力、和歌山大学サイクリングクラブと共同活動etc・・・

メンバー

県職員・市町職員・競輪選手・サイクルフリーペーパー作者・自転車関係経営者・スポーツMC・自転車競技者等

今後の予定

多くの人を巻き込み和歌山に**自転車文化を創造する**

ワカヤマサイクルプロジェクト

0-150GAME



サイクリストカフェ in鍋谷峠（無料）



自転車安全教室





和歌山市

Wakayama City



産業交流局 農林水産部
中央卸売市場 業務班

技術主査 西 林 孝 紘

Nishibayashi Takahiro

〒641-0036 和歌山市西浜1660番地401
Tel : 073-431-3169/Fax : 073-431-3164
E-mail : shijo@city.wakayama.lg.jp
takahiro.nishibayashi@city.wakayama.lg.jp
URL : <http://www.city.wakayama.wakayama.jp/>



わかやまサイクルプロジェクト

**WCPは和歌山に自転車文化を
創造することを目指します**

【業務内容】

主に・・・
サイクリングガイド
サイクリストにやさしい活動
イベントの誘致、企画、提案
サイクルラック普及活動
P V等の撮影協力
自転車の技術支援
安全対策 etc...

Facebook

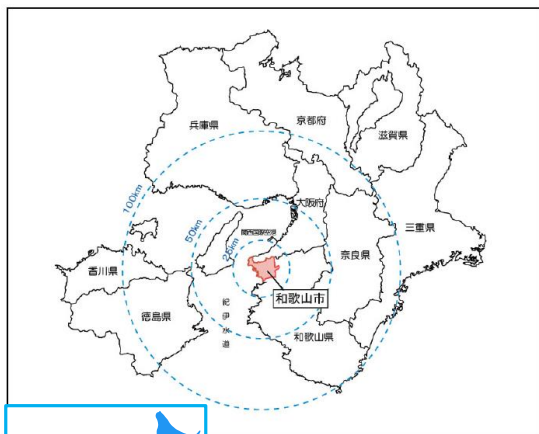


和歌山市の自転車活用の歴史



・紀伊半島の北西部に位置する和歌山県の県都・中核市。
 ・大阪中心部から鉄道or高速道路で約1時間。関西国際空港から同約30分。

地方自治体から見た
 自転車活用とナショナルサイクルルート



天空の城に似ているといわれる砲台跡



東京大学との連携と加太分室の設置



平成31年8月寄港のダイヤモンド・プリンセス



たま電車



新日鉄住金株式会社 和歌山製鉄所



イタリアのアマルフィに似ているといわれる雑賀崎



和歌山ラーメン

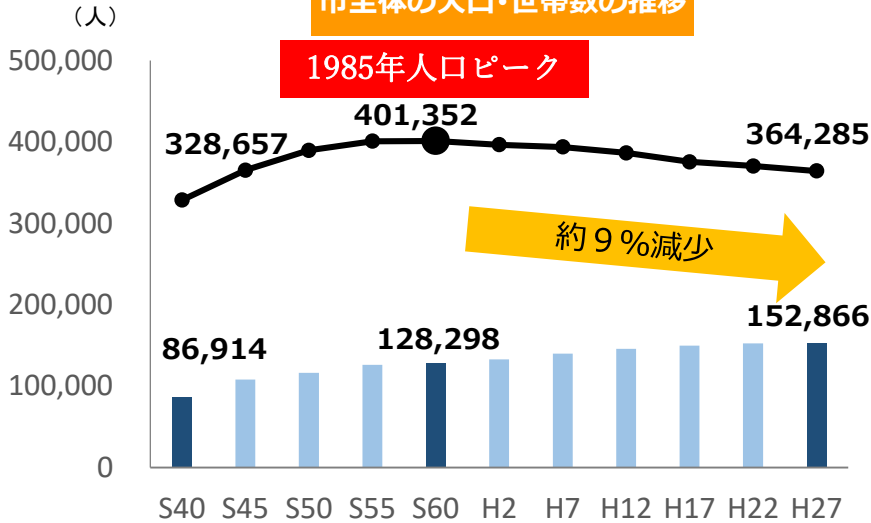
- 人口 352,392人
- 世帯数 156,873世帯 (令和2年4月1日現在)
- 面積 208.85km² (令和元年7月1日現在)

和歌山市の自転車活用の歴史

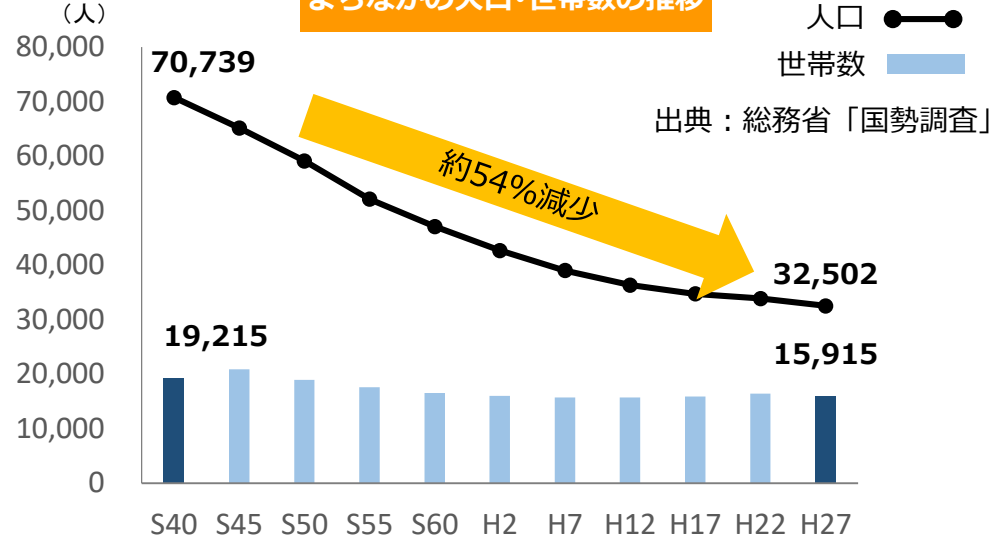
地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート

- ・市人口は昭和60年(1985年)をピークに減少。人口密度も減少傾向。
- ・平成47年(2035年)時点では30万人を割り込む見通し(社人研推計)

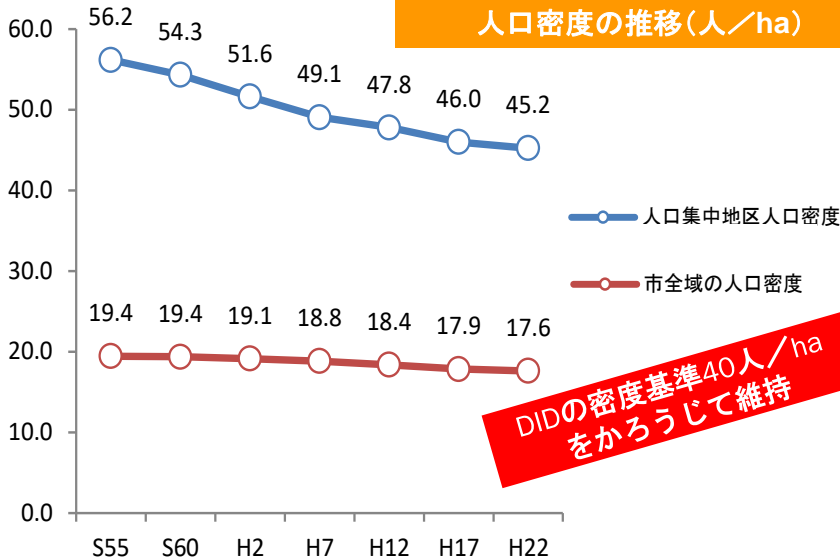
市全体の人口・世帯数の推移



まちなかの人口・世帯数の推移



人口密度の推移(人/ha)



まちなかの賑わい低下



昭和40年代の
にぎわい



近年のシャッター
商店街化

和歌山市の自転車活用の歴史

H21～

■ 和歌山県自転車通行環境懇談会の流れ



○委員名簿

委員	氏名	所属
座長	畠山 貴晃	和歌山市副市長
委員	辻本 勝久	和歌山大学経済学部市場環境学科准教授
委員	吉田 長裕	大阪市立大学大学院工学研究科講師
委員	尾花 正啓	和歌山県県土整備部道路局長
委員	中村 富佐夫	和歌山県警察本部交通部参事官
委員	福岡 彰三	国土交通省近畿地方整備局道路部道路情報管理官
委員	島村 喜一	国土交通省和歌山河川国道事務所事務所長

H26～和歌山市長

和歌山市の自転車活用の歴史

H27～

サイクリングロード整備基本計画

平成 27 年 4 月 2 日
和歌山県・和歌山市

(b-ラインの整備イメージ)

1. 背景と目的

近年、自転車は環境に優しい交通手段として、また、手軽に健康によい交通手段として、さらには観光目的にと利用者が増加している。このため、和歌山県と和歌山市は地域の魅力を楽しみながらの観光や健康づくりを促進するため、県市連携して自転車の利用しやすい環境づくりを推進する。

このサイクリングロード整備基本計画は、自転車利用者が安全に走行でき、目的地に判りやすく誘導するための施設整備やサービス施設の提供場所等を決定するための基本的な考え方をまとめたものである。

2. ルートの概要

ルートは別図-1のとおり決定する。

(1) 川のサイクリングロード:

和歌山下津港を起点とし橋本市に至る総延長 60km の一般県道紀の川自転車道線であり、紀の川の河川敷等を活用し、出来る限り専用道路を中心として整備する。

このうち、和歌山市域の区間は、紀の川の河川敷を基本とした約 15km。

(2) 海のサイクリングロード:

新宮市から和歌山市に至る総延長約 390km の風光明媚な海岸沿いを巡るルートであり、既存道路を活用しながら、安全で快適なルートを選定して整備する。

このうち、和歌山市域の区間は、毛見から和歌浦や雑賀崎を經由し、名所・旧跡等を巡りながら加太に至る約 30km。

自動車交通と分離可能な区間(自転車歩行者専用道路)	
幅員が広い区間(W≥5m)	その他の区間(W<5m)

一般道路	
交通量が少ない区間	交通量が多い区間
	<p>※b-ラインは設置しない。 ※交差点手間に方向表示(路面に貼るシール)を設置してルートを案内する。</p>

自転車を活用したまちづくりへの転換



地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート

H29～

関西シクロクロス 第11戦 和歌山ステージ in マリーナシティ

開催決定!

2/12(日)

自転車の
シクロクロス=障害物競争!

初めての方も楽しめる、
初心者向けのクラス
(CM4・CL3)もあります!

タイムテーブル	
受付開始	8:00～
朝の試走	8:10～8:55
1 U15・CL3・CM4	15分 9:00～9:25
2 C4A/CM3A	30分 9:30～10:10
3 C4B/CM3B/CL2	30分 10:15～10:55
4 C3・U17/CM2	11:00～11:40
昼の試走	15分 11:40～11:55
[パーク内エキシビジョン]	5 CK2 12:00～12:20
	6 CK1 12:20～
7 C1	60分 12:40～13:50
8 CM1/CL1	40分 13:55～14:45
9 C2・CJ	40分 14:50～15:40

1/22(日)

スポーツエントリーにて
受付開始!

問い合わせ先 | wakayama.cycle.project@gmail.com

関西シクロクロス第11戦和歌山ステージinマリーナシティ

- 主催：関西シクロクロス実行委員会
- ※市民による誘致
- 開催日：平成29年2月12日
- 規模：600人以上、観戦者約2000人



2-2. 地域の魅力向上

H30～

施策②

自転車を活用したまちづくり



官民連携によるシェアサイクルを新たに導入し、公共交通の利便性の増進等につなげます。
さらに、自転車活用推進計画の策定を目指し、自転車活用に向けた市民の機運醸成を図り、広域観光の振興に努めます。

官民連携
による
利用促進

● 「スマートサイクルシティわかやま」の実現<新規> 政策調整課・交通政策課 ～ シェアサイクルの導入 ～

公共交通機関と連携し、民間のシェアサイクル事業を推進

【シェアサイクル】

従来のレンタサイクルとは違い、
点在する専用駐輪場（サイクル
ポート）で、いつでも自転車を
借りたり、返したりできる自転
車共有システム



政策調整課・スポーツ振興課・道路政策課

● 自転車活用の推進<新規> 757千円 (内示資料No.33)

サイクリングマップの作成、シンポジウムの開催などにより、
自転車に対する市民の機運醸成を図るとともに、「自転車活用
推進計画」の策定を目指す

● サイクリングロードの整備促進<継続>

海のサイクリングロードのネットワークを推進

道路政策課
スポーツ振興課

堺市・徳島市・甲南大学と連携したネットワークの構築

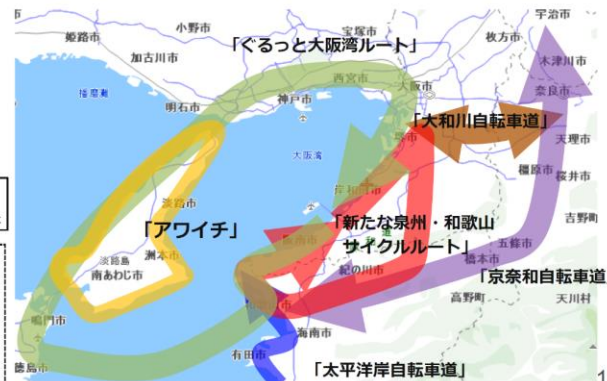
平成28年度より、堺市・甲南大学による『KONANプレ
ミアプロジェクト「関西湾岸ネットワークの構築シンポ
ジウム」』に参画。地域資源をつなぐ広域サイクリング
ルートの検討等を通じ、関西湾岸の活性化を目指す



H30.1.29 本市での開催の様子

マイカーから
「公共交通プラス自転車」への転換

4つの目的



自転車活用
の推進



日本国内 3都市で展開

大津市

- 4月27日スタート
- 66ポート

北九州市

- 4月9日スタート
- 18ポート

和歌山市

- 3月28日スタート
- 26ポート



利用シーン

街乗り



- 平日利用の30%はランチ・カフェタイム
- 少しの移動・街の散策

レジャー



- 休日は平日に比べ日中の利用が10%増
- 近郊のお出かけや観光

通勤



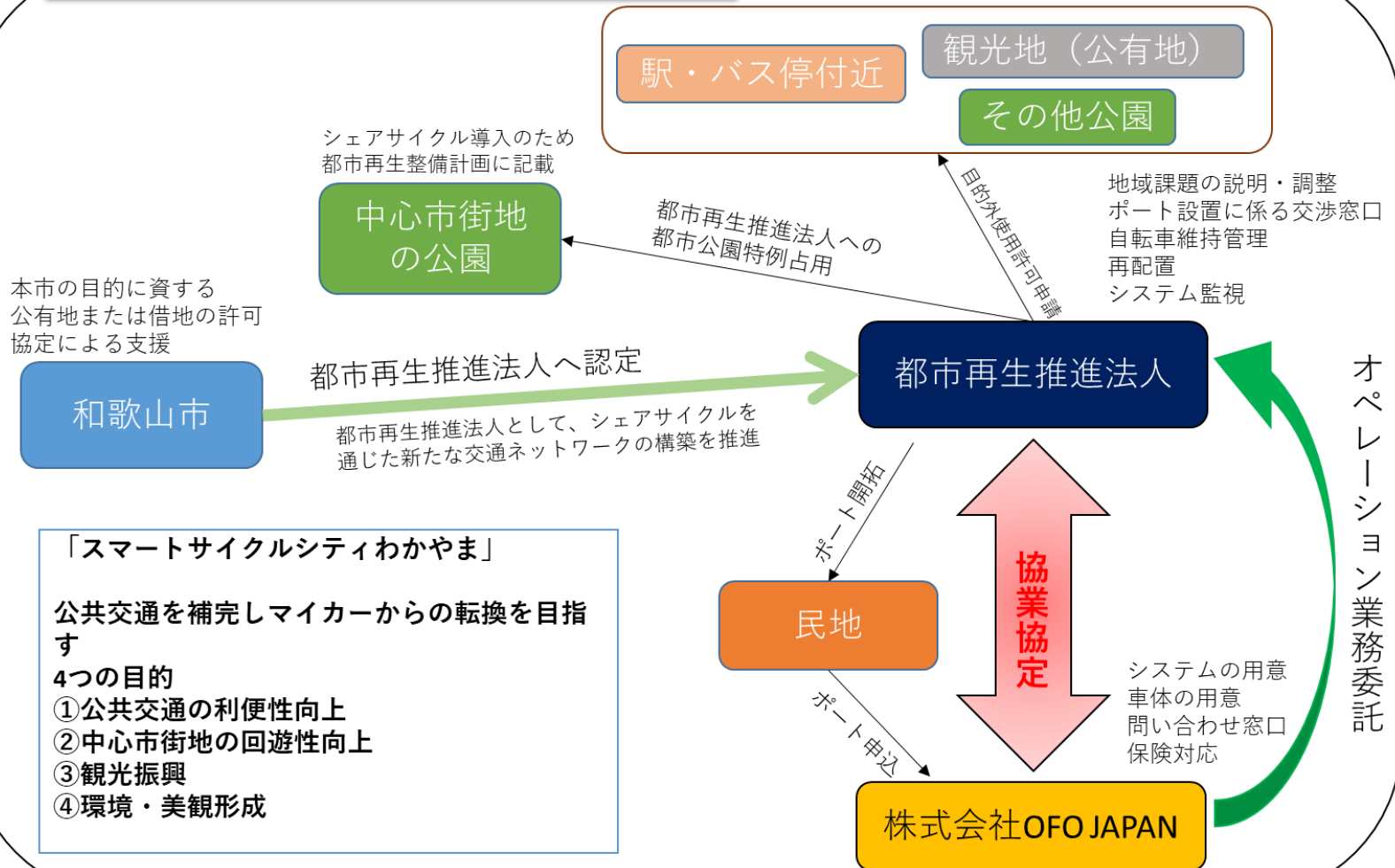
- 平日利用の30%は朝晩のラッシュアワー
- 毎日の通勤・帰宅

自転車を活用したまちづくりへの転換

和歌山市におけるシェアサイクル事業者の関係性

3者による協力協定

スマートサイクルシティわかやまを目指す



和歌山) シェアサイクル「ofo」 和歌山市から撤退へ



サイクルポートに並ぶofoの黄色い自転車= 2018年10月25日午後4時22分、和歌山市西汀丁



今年3月から和歌山市で事業を始めた中国のシェアサイクル大手「ofo (オフォ)」が日本から撤退の意向を示し、同社の日本法人「OFO JAPAN」と和歌山市が撤退に向けた協議を始めたことがわかった。

和歌山市によると、今月18日に「OFO JAPAN」の担当者から「撤退するかもしれない」と連絡があり、24日から撤退に向けた協議を始めた。撤退の時期は10月末ごろになる予定だという。

ofoは今年3月末、日本で初めて和歌山市でサービスを始めた。大津市や北九

2. 地域が持つ魅力の向上

R1~

スポーツを楽しめる環境づくり



運動環境の充実

スポーツ振興課

●つつじが丘テニスコート周辺整備

＜新規＞ 1,327,141千円 (内示資料No.53)

幅広い世代が交流する拠点として、駐車場及び総合公園を整備するため、平成31年度に駐車場用地を取得

スポーツ振興課

●加太スポーツ公園構想の検討＜継続＞

コスモパーク加太において、子供から高齢者まで、あらゆる世代が多目的に活用できるスポーツ公園設置の検討を進める

自転車まちづくり

政策調整課

●自転車活用の推進＜新規＞ 1,753千円 (内示資料No.54)

- ・自転車活用推進計画の策定
- ・自転車活用に係る官民・自治体間連携の強化



イメージ図



自転車を活用したまちづくりへの転換



地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート

0-150GAME



サイクリストカフェ



自転車安全教室



和歌山市自転車活用推進計画



地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート

R2~

和歌山市自転車活用推進計画

概要版

■ 計画策定の位置付け

和歌山市では、環境にやさしい交通手段である自転車を活用することで、地域の魅力を楽しみながらの観光や健康づくりを推進するため、これまで県・市で連携して自転車の利用しやすい環境づくりに取り組んできたところであるが、「自転車シンポジウム」（2019年2月）等の開催により、自転車活用の機運がこれまで以上に高まってきていることから、今後の自転車活用のより一層の推進を図るため、自転車活用推進法第11条に基づき「和歌山市自転車活用推進計画」を策定する。

■ 計画の期間

2020年度～2026年度の7年間

■ 計画の内容

次の4分野においてそれぞれ目標及び施策を設定した。



分野1：都市環境

【現状と課題】

- 自転車通行空間が十分確保されていないため、歩道上では歩行者と自転車が混在
- 30年間で鉄道・バスの交通手段分担率は減少（10.6→7.3%）する一方で、自動車の交通手段分担率が増加（27.8→52.9%）
- 無料駐輪場は、白線の消失、看板の劣化、長期的な放置自転車等により利用しづらい
- 放置禁止区域内外等における迷惑駐輪は減少傾向にあるが依然存在

【目標】

★すべての自転車利用者が快適に走れるまち

【施策】

- 自転車通行空間が整備されたネットワークの構築
- レンタサイクルやシェアサイクルなどによる二次交通の推進
- 市営自転車等駐車場の再整備及び放置自転車対策の推進



安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(2016年7月)による整備形勢



分野2：安全・安心

【現状と課題】

- 歩道上のスピード走行や並進走行、夜間ライト不点灯など、自転車安全利用五則が守られておらず、2018年の自転車乗用中死者の法令違反（2019年2月14日警察庁公表）は、高齢者で78%、高齢者以外でも69%と高い
- 小学校と比べると、中学校での交通安全教室の実施率が低い
- 2019年10月1日から和歌山県で自転車損害賠償保険等への加入が努力義務化

【目標】

★自転車利用者の交通マナーが良いまち

【施策】

- 自転車利用者に対する安全利用啓発の推進（街頭啓発活動など）
- 各学校における交通安全教室の充実（コミュニティ・スクールの活用や地域と連携した取組事例の紹介など）
- 自転車損害賠償保険等の加入促進



小学校における交通安全教室

分野3：観光・スポーツ

【現状と課題】

- 地理的には多くのサイクリングルートの起終点となっているが、「しまなみ海道」や「ピワイチ」に比べると本市のサイクリングルートの全国的な認知度は低い
- 市民の認知度は約4割（2019年市民アンケート調査の結果）
- サイクリストを呼び込むための拠点整備が乏しい
- 休憩所等サイクリストの受入環境が充実されていない
- 観光地を回遊する公共交通ネットワークが不十分

【目標】

★サイクリストや観光客が楽しめるまち

【施策】

- 先進地域との連携によるサイクリストの誘客やサイクリングルートのPR推進
- 官民連携等によるサイクリングの拠点整備などサイクリング環境の充実
- 広域サイクリングルートの活用及びアクセス環境の改善
- レンタサイクルやシェアサイクルなどによる二次交通の推進（再掲）



「川のサイクリングロード」



広域サイクリングルートの起終点のイメージ



広域サイクリングルート連携事業における社会実験の取組



サイクルラック

分野4：健康増進

【現状と課題】

- 20歳から59歳の運動習慣の割合は男女とも60歳以上と比べ低い状況
- 民間企業で行われた「自転車を活用した従業員の健康づくり」の取組では、社内規定の見直しや駐輪場の整備など環境づくりが必要となるものの、朝から活力が増し、仕事の生産性向上や社員の心身健康維持に繋がったとの結果

【目標】

★自転車利用を通じて元気に暮らせるまち

【施策】

- 手軽に実施しやすい有酸素運動としてのサイクリングの活用
- 市内事業者への自転車通勤の推奨

太平洋岸自転車道とサイクルツーリズム



地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート



目次	
野栄町から岬町にかけて.....	29
八日市場市.....	29
飯岡町と旭市.....	29
飯岡町28 旭市28.....	27
九十九里浜.....	27
渡海神社の産相林27.....	27
銚子市.....	22
銚子港23 銚子大橋23 飯沼観音23 川口神社23.....	22
千人塚と海難漁民慰霊塔24 夫婦が鼻、黒生・海鹿.....	22
島海岸24 若ガ浜26 大吠埼・大吠埼灯台26 愛宕.....	22
山・地球展望台26 食虫植物の群落26 屏風ガ浦26.....	22
千葉県.....	15
太平洋岸自転車道の意義と期待：千葉県知事 友納武人20.....	15
九十九里の浜辺にそって.....	22
「太平洋岸自転車道路」プロジェクト.....	10
1・プロジェクト誕生まで.....	10
2・まず建設省に陳情する.....	11
3・実現に向かってまいしんする.....	12
山岡荘八.....	14
発刊によせて..... 自転車道路協会会長.....	14
ほんどうに楽しい：衆議院議員 遠藤三郎.....	16
野栄町29 光町30 横芝町30 蓮沼村30 成東町30.....	30
九十九里町30 東金市30 大網白里町31 白子町31.....	30
長生村31 一宮町31 岬町31.....	31
南房総の海岸にそって.....	31
大原町.....	31
御宿町.....	32
勝浦市.....	32
行川アイランド33 勝浦パークランド33.....	32
天津小湊町.....	33
妙ノ浦33.....	33
鴨川市.....	34
鴨川シーワールド34 大海フラワー・磯釣りセンタ.....	34
1 36 仁右衛門島36.....	36
千倉町・白浜町.....	36
千倉町36 白浜町36.....	36
館山市.....	37
富浦町・富山町.....	37
鋸南町.....	37
鋸山38 金谷港38.....	38
神奈川県.....	39
太平洋岸自転車道の意義と期待 神奈川県知事 津田文吾40.....	39
三浦半島をめぐって.....	42
横須賀市.....	42

太平洋岸自転車道とサイクルツーリズム

地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート

●千葉県銚子市から神奈川県、静岡、愛知、三重、和歌山県の各太平洋沿岸を走り、和歌山市に至る 延長1400kmの自転車道構想

○サイクルツーリズムの高まりの背景には、旅行者(特にリピーター)の消費スタイルの変化がある(「モノ」中心から、「コト」消費へ)
○太平洋岸自転車道沿線は、世界遺産である富士山をはじめ日本を代表する観光地・景勝地が多数存在するゴールデンルート。
○こうした点を踏まえ、新幹線に代表される「Fast Tourism」に加え、日本の文化をじっくり味わい尽くせる新たな「Slow Tourism」を提案する、それが「太平洋岸自転車道」である。

・S44.9 自転車道路協会から
建設大臣要望

・S48 大規模自転車道整備
事業として着手

・H30.6 自転車活用推活用
推進計画 閣議決定

・H30.11 第1回 太平洋岸自
転車道推進協議会



2020年、東京オリパラまでに、各県や市町村ならびに国が連携し、全線で統一感を持たせて整備
和歌山市は起終点となるため、拠点等の整備を検討中。また、周辺都市と広域的に連携を推進

太平洋岸自転車道とサイクルツーリズム



地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート



“レースイベントに活用”案も

「自転車の魅力知って」 市職員の提案受け和歌山市長
がサイクリングロード快走

地域資源の魅力を確認しようと11月22日、和歌山市の和歌浦周辺のサイクリング
ロード約12kmを、県サイクリング協会員や市職員らが快走。尾花正啓市長も参加し、
風を受けながら景色を楽しみ、地元の食材にも舌鼓を打った。

和歌山県内では、今年度から
県がサイクリング推奨ルートと
して道路に青色の線（ブルー
ライン）を引くなどの事業を実
施。同市西浜の市中央卸売市場
からマリナーシティ（同市毛
見）までの一部を県と市で整備
する予定となっており、「まず
は自転車の魅力を知ってもら
う」と市職員が提案した。



自転車にまたがり出発する参加者たち =2015年11月22日、和歌山
市西浜の市中央卸売市場

その日 参加者だけ午前11時

徹底的に市長 たちを自転車 に乗せる！！

広域サイクルルート連携事業



9月22日関西一円の広域サイクルルート形成に向けた試走会（大阪府主催）に協力

【目的】
各市町村が持つストックやポテンシャルを最大限
に活かし、府県域にとらわれず広域的に連携させ
ることで、圧倒的な魅力を備えた都市空間を創造
する。

岬町から加太周遊ルートを試走
試走者 竹内大阪府副知事、尾花和歌山市長、
大阪府立大学 サイクリング部 他70名程度



太平洋岸自転車道とサイクルツアーリズム

地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート



太平洋岸自転車道とサイクルツーリズム



地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート



和歌山市から世界遺産「高野丸山」へ



京都まで整備予定の自転車道



サイクリングコースから見える日本遺産「和歌の浦」

和歌山市は太平洋岸自転車道や京奈和自転車道、泉州和歌山サイクルルートなど多くのサイクリングルート構想の起終点となっている。

太平洋岸自転車道とサイクルツアーリズム



地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート

自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会への入会

第1回全国シクロサミット 和歌山

自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会は、平成30年11月に設立され、現在299自治体が入会しています。今後のさらなる自転車の利活用、自治体間の連携を進めたいため、シンポジウムとサイクリングが一体となったシクロサミットを開催しました。

平成31年3月23日(土) 第1回全国シクロサミット 和歌山県立わかやま館(和歌山マリナシティ内)
参加者 約200名参加(約100自治体、関係団体等) 企業ブース展示あり
平成31年3月24日(日) わかやまサイクリングフェスタ うまいもん満喫グルメライド 午前9時出発
参加者 約35名(首長5名の他自治体職員が参加)

1日目 2019.3.23(SAT)



主催者 会長 今治市長 菅良二
副会長 堺市長 竹山修身
近畿ブロック長 守山市長 宮本和宏
開催地代表 和歌山市長 尾花正啓

来賓 自転車活用推進議員連盟会長 二階俊博様
和歌山県知事 仁坂吉伸様
自転車活用推進議員連盟事務局長 穴見陽一様
衆議院議員 門 博文様 / 衆議院議員 大岡 敏孝様
衆議院議員 浮島とも子様代理 木野十三様

基調講演

『World of Cycling サイクリングの世界』

(一財)自転車新文化基金 会長 羅 祥安
(シャイアントグローバル最高顧問)



地方における推進成功の要因：決心

1. 地方自治体トップの自転車新文化理念に対する関心と政策的な決意
2. 地方自治体で自転車新文化推進室などの組織を作り、積極的に推進の努力をすること
3. サイクリングロード 関係機関との連携
4. サイクリング専門の観光企画・イベントを開催し、サイクリングの「ハブ」を作ること

CYCLINGがもたらす地方創生の可能性とメリット

1. Inbound(海外からの旅行客)が増加することで、関係機関が連携
2. 観光に誘った都市：中高生・若者・家庭などが住みやすくなる
*人口増加
*経済発展と活性化
3. 健康と事業発展
*生活習慣病の予防
*政府と民間の連携・保険料介助の負担軽減



関連講演

1『台湾をぐるっと一周する環島サイクリングと日本』

エッセイスト 一青 妙

2『自転車通勤と企業における健康づくりについて』

株式会社シマノ バイシクルコンポーネツ事業部 / 花王和歌山工場
企画部文化推進室 課長 阿部 竜士 / 健康相談室 堀 祐子

3『地域のみなが自転車に安全に楽しむためには』

一般社団法人自転車協会 理事長 山崎 一



パネルディスカッション



太平洋岸自転車道について

4月1日開催 2020年度までに、太平洋岸自転車道全線(約400km)に開設し、沿道観光・案内サービスの提供等、国として統一線のある整備を実現する。国・道・県・市町村が連携して取り組む。国・道・県・市町村が連携して取り組む。国・道・県・市町村が連携して取り組む。



太平洋岸自転車道とつながる広域サイクルルートの連携に向けて
～自転車日本社会を変えよう～

○自転車の活用は、「持続可能な社会」と「地方創生」の実現に大きく貢献！
○環境・健康に優しく、生きがい・友情を育む「自転車新文化」の普及が必要

1. ナショナルサイクルルート上の連携
国が「ナショナルサイクルルート」制度を検討中であり、ナショナルサイクルルートの指定により、国内外から多くのサイクリストが来訪し、大きな経済効果が期待できる。全国の背景となる「太平洋岸自転車道」と全国のサイクルルートの連携が不可欠。
2. 自転車を活かしたまちづくりの全国展開(組織・健康等)
持続可能な社会の実現に向け、環境・健康に優しい自転車を活かしたまちづくりや安全対策を国・都道府県・市区町村が連携し進めることが必要。

3. 新技術の活用
ICTやE-Bike(電動アシストのスポーツバイク)等の活用。特に、E-Bikeの登場により、女性・高齢者も山を容易に登れるようになり、有名観光地のみならず、過疎地・山間地への自転車での観光が可能となる。

※ヨーロッパでは既に、E-Bikeでアルプス・ピレネー越えやアルドブランカスのコースを走る観光客が人気。

ナショナルサイクルルートのルート設定

ナショナルサイクルルートは、国土交通省が定める長さが100km以上のコンクリート舗装の公道、主要な観光地、サイクリングの楽しさを増やすポイント(カフェ)を設けることが必要。



広域でつながるサイクルルート構想 和歌山市



パネラー 国交省自転車活用推進本部事務局 大野次長×今治市長×堺市長×堺町長×和歌山市長
ブロック代表 美明市副市長×北上市長×佐渡市副市長×本庄市長×三島市副市長×尾道市副市長×南さつま市長

2日目 2019.3.24(SUN)

わかやまサイクリングフェスタへ参加

うまいもん満喫グルメライド65kmに5首長(今治市長、和歌山市長、安城市長、南さつま市長、守山市長)を先頭に35名が参加、太平洋岸自転車道や紀の川サイクリングロードを走行しました。



ゲストライド 羅 祥安さん 一青 妙さん

懇親会



自転車活用推進議員連盟 事務局次長 江島潔先生にお越しいただくなか、約80名が参加し、親睦を深めました。

NCR認定で終わりでではなく スタート

広域連携と道の駅

地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート



広域連携と道の駅

地方自治体から見た
自転車活用とナショナルサイクルルート





WCP
太平洋岸自転車道を走ります！！

2021年 8月7日~2021年 8月15日
(9日間)

約1400キロ、走ります。

**期間中に各地の自治体・SC等の皆様是非、
我々が挨拶に参ります！！
つながりましょう。つなげましょう。**

七里ヶ浜(神奈川県鎌倉市)

太平洋岸自転車道
Pacific Cycling Road

ご清聴ありがとうございました